
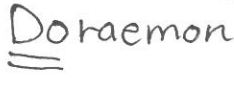


【 三単現のsについて 】

1. 三単現のSについて

動詞は大きく分けて【1. be 動詞】と【2. 一般 動詞】があります。

【1. be 動詞】は、3つだけ。では1. の動詞を主語に合わせて書いてみよう。
主語がIのときの【3. am 】, youやwe、theyのときの【4. are 】,
それと、主語がit, he, sheのときの【5. is 】です。

【2. 一般 動詞】は疑問文や否定文を作るときに、ドラえもののポケットから 
【6. do 】を出してもらわなければできません。例えば、
You play badminton after school. という文を疑問文に書き換えると
【6. Do 】 you play badminton after school ? となります。答えるときは
Yes, I 【6. do 】. No, I 【6. don't 】(短縮形) となります。

ところがこれは、主語が you, we, they といった二人称か複数するときだけなのです。
主語が三人称のとき、he, she, it のときは、ドラえもののポケットからもうひとつ
ちょっと違った形のものを借りてこなければならぬのです。
人よんで、動詞を助ける=助動詞の does です！do とどこが違うでしょう？
そうです。do の後ろに es がついてますね。このesこそが、大切なんです。
これは、三単現のSと呼ばれるもので、主語が三人称で、単数、そして文が現在形
のとき、一般動詞の語尾にsかesが付加されるのです。

例えば、

① けんたは放課後テニスをします。

Kenta play tennis after school. ではなく、

Kenta plays tennis after school. となります。やっこしいですね~！！

② ①の文を疑問文にすると、

Does Kenta play tennis after school? となり、答えは

Yes, he does.

No, he doesn't. (= does not) となります。does を使って答えます。

※ ちなみに、Kentaは三人称です。代名詞に置き換えるとheになります。

人名は全て三人称です。但し、一人でないで単数になりませんので、人名が出てきても、1人かどうかをきちんと確認して下さい。三つの条件が一つでも欠けると、三単現のSは、あてはまりません。

次でいくつか練習してみましよう。